

RYOBI

2011年3月期 第2四半期 決算資料(詳細)

2010年11月
リョービ株式会社

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

■目 次

I. 上 期の連結業績概要

II. 通 期の連結業績予想

III. 事業展開の方向性

3

I. 2011年3月期 上期 連結業績概要

4

■業績の概要

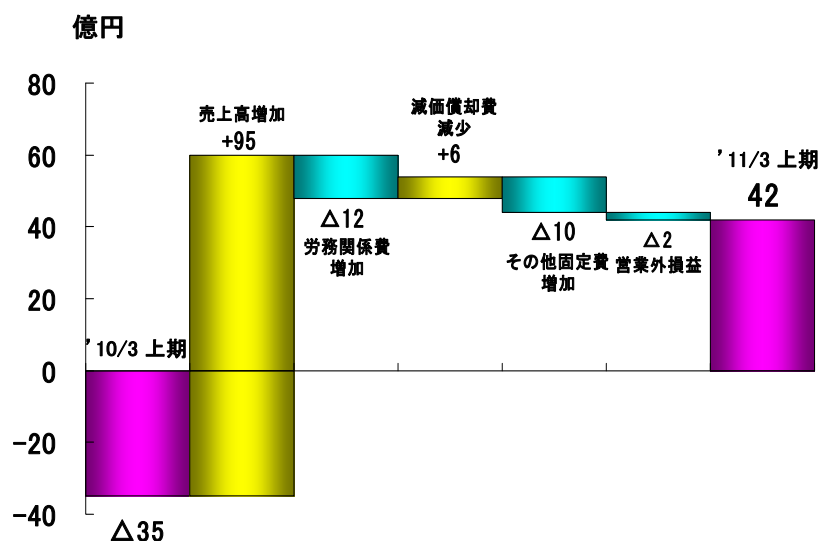
- ・増収、増益。2期ぶりの黒字。
- ・ダイカスト中心に売上高が増加。

単位: 億円

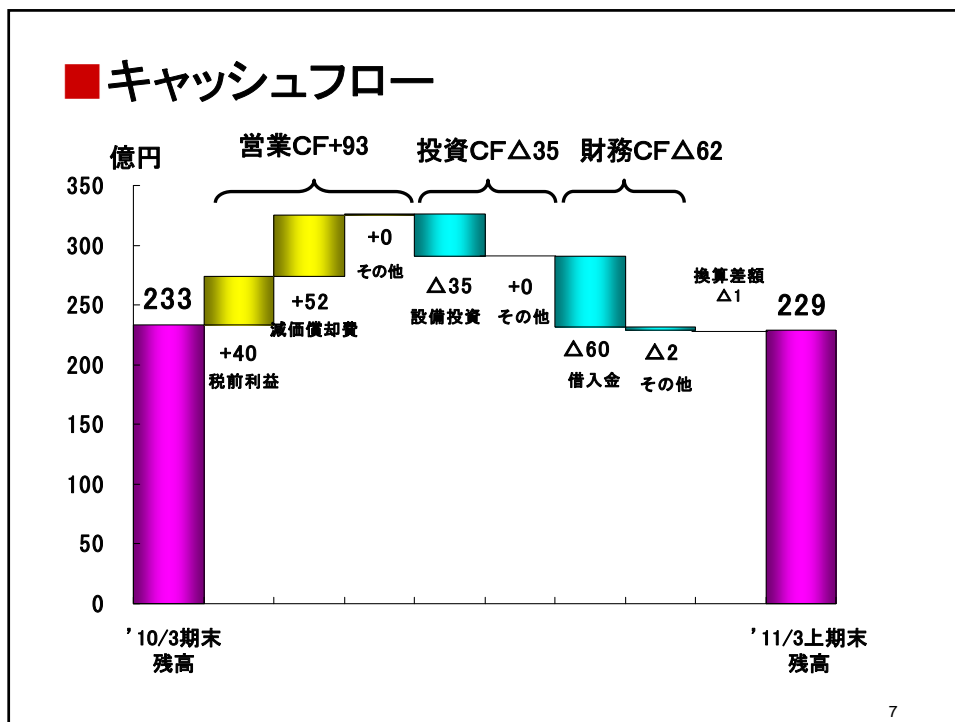
	'09/3 上期 (利益率%) 実績	'10/3 上期 (利益率%) 実績①	'11/3 上期 (利益率%) 実績②	前上期比 ②-① <増減率%>
売上高	1,039	561	803	+242 <+43.2>
営業利益 (3.9)	41	(△5.9) △33	(5.7) 45	+79 <- >
経常利益 (4.0)	41	(△6.3) △35	(5.2) 42	+77 <- >
当期純利益 (2.2)	23	(△5.1) △29	(3.3) 26	+55 <- >
	'09/3 期末 実績	'10/3 期末 実績①	'11/3 上期末 実績②	前期末比 ②-① <増減率%>
総資産	1,672	1,739	1,750	+11 <+0.6>
自己資本	672	671	686	+14 <+2.2>
有利子負債	586	612	549	△63 <△10.3>

5

■経常利益増減要因



6



7

■ 事業別の業績

単位: 億円

	'09/3 上期 (構成比%) 実績	'10/3 上期 (構成比%) 実績①	'11/3 上期 (構成比%) 実績②	前上期比 ②-① <増減率%>
売上高				
ダイカスト	(70.0) 727	(64.7) 363	(72.5) 583	+220 <+60.7>
印刷機器	(17.3) 180	(15.2) 86	(12.4) 100	+14 <+16.2>
住建機器	(12.7) 132	(20.1) 113	(15.1) 121	+8 <+7.5>
営業利益 (利益率%)				
ダイカスト	(3.4) 25	(△9.1) △33	(6.7) 39	+72 <- - >
印刷機器	(5.8) 10	(△9.1) △8	(△5.5) △5	+2 <- - >
住建機器	(4.3) 6	(6.9) 8	(9.6) 12	+4 <+48.3>

8

■ 事業別営業利益の増減の要因 ('10/3上期比)

①ダイカスト (+72億円)

エコカー補助金の駆け込み需要、中国などの新興国や北米の自動車市場の堅調な動きにより、日米自動車メーカー向けを中心に受注が増加し、増益。

②印刷機器 (+2億円)

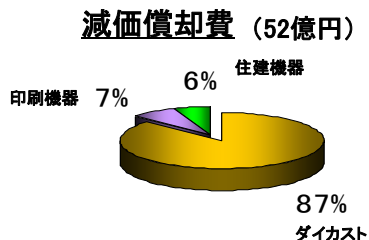
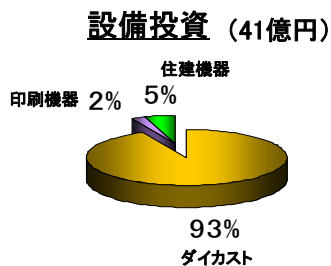
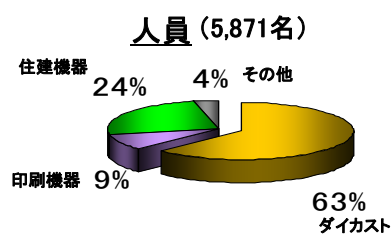
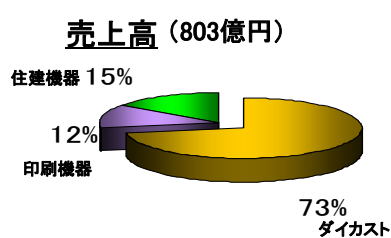
市場環境は依然低調だが、国内販売、アジア向け輸出が増加。増収及びコスト削減により損失縮小。

③住建機器 (+4億円)

国内住宅着工戸数の低迷、厳しい販売競争は変わらないが、国内販売、輸出とも増加。原価低減・経費削減の効果などもあり増益。

9

■ 事業別構成比 ('11/3 上期)



10

II. 2011年3月期 通期 連結業績予想

11

■ 経営環境

- ・8月中旬以降、急激な円高・株安、政策効果の減衰、デフレ圧力などから景気は足踏み状態。
- ・自動車産業は、中国などの新興国や北米は概ね堅調であるが、国内はエコカー特需の反動が大きく、需要回復には時間を要する。
- ・先行きは、円高・デフレの進行、雇用情勢の悪化、世界経済の減速などから輸出や生産のさらなる鈍化、消費の低迷が懸念される。リョービを取り巻く環境は依然として厳しい状況が続く。

12

■業績予想

・増収、増益

単位：億円

	'09/3期	'10/3期	'11/3期	前期比	
	(利益率%) 実績	(利益率%) 実績①	予想②	②-①	<増減率%>
売上高	1,763	1,259	1,540	+281	<+22.3>
営業利益	(1.0) 18	(△0.7) △9	(4.9) 75	+84	<->
経常利益	(0.9) 16	(△1.0) △13	(4.5) 69	+82	<->
当期純利益	(0.1) 2	(△1.3) △16	(2.9) 44	+60	<->

13

■事業別の業績

単位：億円

	'09/3期	'10/3期	'11/3期	前期比	
	(構成比%) 実績	(構成比%) 実績①	(構成比%) 予想②	②-①	<増減率%>
売上高					
ダイカスト	(69.6) 1,228	(68.4) 861	(72.7) 1,120	+259	<+30.0>
印刷機器	(16.7) 294	(14.4) 181	(13.0) 200	+19	<+10.5>
住建機器	(13.7) 241	(17.2) 217	(14.3) 220	+3	<+1.4>
営業利益	(利益率%)	(利益率%)		前期比	
ダイカスト	(0.4) 5	(△0.9) △8		増加	
印刷機器	(1.9) 6	(△7.7) △14		改善	
住建機器	(3.3) 8	(5.9) 13		横ばい	

14

■ 営業利益の主な増減要因 ('10/3期比)

単位：億円

要 因	影響額
増 加 計	+ 124
売上高増加の影響	+112
減価償却費減少	+12
減 少 計	△40
労務関係費等の増加	△35
為替変動(円高)	△ 5

15

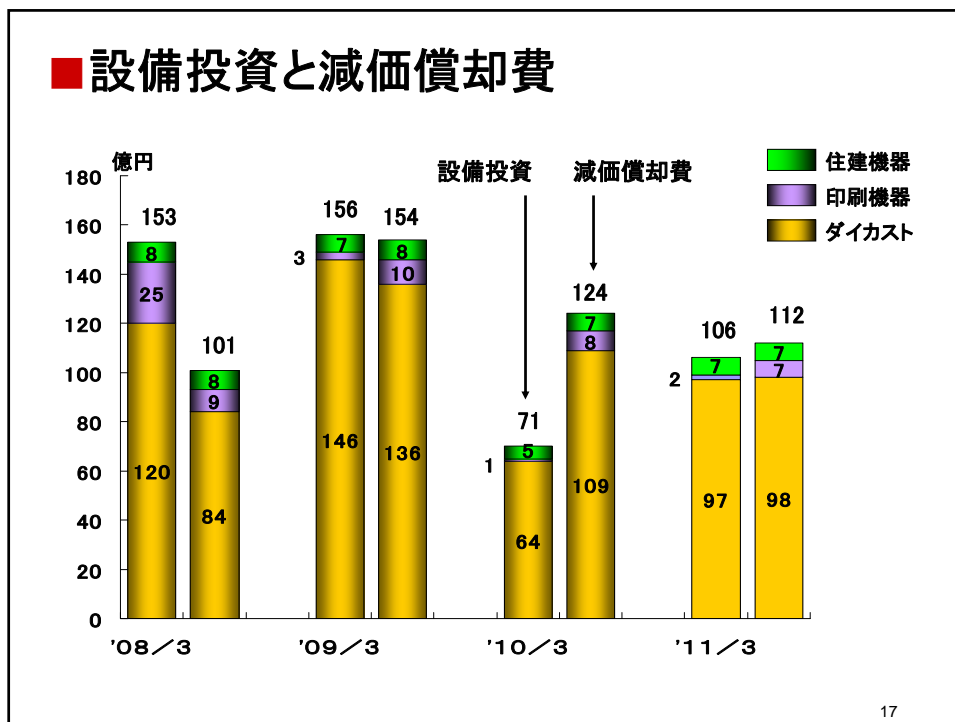
■ 為替レート

※海外子会社財務諸表換算レート

	'10/3期	輸出入レート	'11/3期下期 想定レート
		※換算レート	
US \$	92円		85円
	94円		(60百万円)
EUR	130円		110円
	-----		(5百万円)
Stg £	144円		135円
	145円		(5百万円)

()内は1円変動した場合の年間の営業利益影響額。

16



17

III. 事業展開の方向性

18

■ダイカスト事業

- <開 発> パワートレイン部品以外の自動車部品のダイカスト化を促進
- <生 産> 生産量が減少しても利益を出せる体制の構築
中国の生産体制の拡充
- <販 売> グローバルな販売体制による世界の自動車メーカーからの受注拡大

19

■ダイカスト事業

— 中国の生産能力増強 (1) —

- ① 利優比压铸(大連)有限公司の拡充
 - ・概 要:2棟目の工場建設中、鑄造機8台(内2,500t 5台)
を今年12月から2014年にかけて順次設置
 - ・生産開始:2011年4月(予定)
- ② 江蘇省常州市に第2拠点を設立
 - ・社 名:利優比压铸(常州)有限公司
 - ・事業内容:ダイカスト製品、ダイカスト用金型の製造販売
 - ・設 立:2011年1月(予定)
 - ・生産開始:2012年4月(予定)

20

■ダイカスト事業

— 中国の生産能力増強 (2) —



21

■ダイカスト事業

— 中国の生産能力増強 (3) —

	利優比压铸(大連)有限公司	利優比压铸(常州)有限公司
設 立	2005年4月	2011年1月(予定)
資 本 金	41億円	40億円
投 資 額	120億円 〔第1期:80億円実施済み〕 〔第2期:40億円(予定)〕	90億円 (2013年12月までの予定)
土 地	60,000㎡	80,000㎡
建 物	26,000㎡〔第1棟:10,000㎡〕 〔第2棟:16,000㎡〕	32,000㎡
鑄 造 機	17台(内、2,500t:11台)	13台(内、2,500t:7台)
社 員 数	540人(2010年9月現在)	350人(2014年12月予定)

22

■ダイカスト事業

— 中国の生産能力増強 (4) —

中国での売上高見通し

	利優比压铸(大連)有限公司	利優比压铸(常州)有限公司
'11/3期	40億円	—
'12/3期	80億円	—
'13/3期	90億円	20億円
'15/3期	90億円	50億円

海外での売上高見通し(新規受注分)

	'11/3期	'12/3期	'13/3期	'15/3期
中国(2社合計)	40億円	80億円	110億円	140億円
海外グループ会社合計	70億円	130億円	170億円	—

23

■印刷機器事業

〈開発〉 マーケットニーズに合った商品の拡充

- ・バリエーション、多様な印刷、大型機、
- ・環境に配慮した商品開発

〈生産〉 生産量が減少しても利益を出せる体制の構築

〈販売〉 グローバルな販売・サービス体制の強化によるシェアの拡大

24

■ 住建機器事業

<開 発> 軽量・コンパクトをコンセプトに機能性と安全性を追求した商品開発

<生 産> 製造力の強化による価格競争力の向上

<販 売> 高品質商品の販売
マーケティング力の強化

25

■ 企業理念

技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。

26